

令和5年度 授業改善推進プラン 1年

校内研究部

	児童の実態・課題分析	具体的な改善策	改善プランの評価	
国語	・ひらがなの読み書きに個人差がある。そのため、文章を読み取る力や文章を書く力の個人差も大きい。	・授業の中で教科書の音読を毎回行うようにして、家庭学習でも毎日行う。 ・読書の習慣をつけるようにする。 ・ワークシートを活用して、なぞり書きや例を示して、段階を得て、書く学習を進める。		
社会	/	/		
算数	・基本的な足し算や引き算の計算はできるが、文章題になると、立式でとまどってしまう児童がいる。 ・指を使って計算する児童がいる。	・日常の場面を算数に取り入れながら式に表すような授業を行い、式の理解を図る。 ・ブロック操作など具体物を使用して、計算の方法を理解できるようにする。		
理科	/	/		
生活	・植物を育てることや、昆虫探しなどに興味関心のある児童が多い。一方で、豊かな自然に向き合い、その美しさや素晴らしさを意識することなく、過ごしてしまっている児童もいる。	・季節ごとに、身近にある矢川や矢川緑地で観察を行い、季節の変化などの気付けるような体験を増やす。		
音楽	・授業に対して積極的に取り組んでいる。リズムに合わせて体を動かすことに興味をもっているが、一部不安定な児童もいる。	・1時間の中で、歌唱、楽器、リトミックなどを分散した展開を行う。 ・視覚からも捉えられるように分かりやすく伝える。		
図画工作	・どんな題材にも意欲的に取り組んでいる。一方で初めてのことにに対しては、慎重になりすぎたり、イメージが膨らみきれなかったりする児童もいる。	・完成例や手順を書画カメラ等で提示してイメージや見通しをもたせる。また、全体で十分にアイデアを話し合ってから作業に取り組むようにする。		
家庭	/	/		
体育	・運動の経験が少なく、基礎体力や感覚が身に付いていない児童がいる。 ・自分の力を発揮した満足感よりも、勝ち負けにこだわってしまうことがある。	・準備運動で体づくりの運動遊びを取り入れる。基礎的基本的な運動感覚を身に付けさせ、遊びの楽しさに触れさせる。 ・ルールの確認やめあてを確認し、振り返りを行うようにする。		
外国語	/	/		

令和5年度 授業改善推進プラン 2年

校内研究部

	児童の実態・課題分析	具体的な改善策	改善プランの評価
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・読み取る力、言語能力に個人差が大きい。書く分量にも個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挿絵や写真などを用いて、文と場面を結びつける。 ・漢字練習にも作文を取り入れ、漢字を使って書く機会を増やす。 ・読み聞かせや音読の活動から、言葉に親しめるようにする。 	
社会			
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な計算はできるが、速さに差がある。 ・単位量や時間などの単位と数字の理解が難しい。 ・全体的に、数の概念が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物や半具体物を使った数学的活動を取り入れ、数の概念の理解や量感を育てる。 ・日常事象を算数に取り入れる授業を行う。 ・必要に応じて全学年の既習事項に戻って指導を行う。 	
理科			
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・生活経験に個人差が大きく、学習に生かす際に共有が難しい。 ・課題に積極的に取り組む反面、追究心や探究心に乏しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学区域探検や野菜の栽培、矢川体験など学校で共通の体験を取り入れ、その後の学習で共有しやすくする。 ・正解を与えるのではなく、友達同士での活動を増やす。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱や鍵盤楽器の演奏の経験が少ない。 ・歌や体を使ってリズムをとる活動は楽しんでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鍵盤楽器の経験が少ないため、歌や音階に親しむ活動を取り入れながら、段階的に習熟させる。 ・できる範囲で歌に親しむ多く取り入れる。 	
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に活動できる児童が多い。 ・学習内容や指示理解が困難な児童への支援が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手本を示したり、友達の作品を鑑賞したりすることを通して、発想をふくらませる。学級担任や支援員と連携を図りながら、個に応じた支援を行う。 	
家庭			
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の経験が少なく、基礎体力や感覚が身に付いていない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・準備運動で体づくりの運動を取り入れる。 ・基礎的・基本的な運動感覚を身に付けさせ、遊びの楽しさに触れさせる。 	
外国語			

令和5年度 授業改善推進プラン 3年

校内研究部

	児童の実態・課題分析	具体的な改善策	改善プランの評価
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・読み取る力、言語能力に個人差が大きい。書く分量や時間にも個人差がある。 ・丁寧に文字を書くことや最後まで問題に取り組む意識が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・反復練習をし、基礎基本の力が身に付くようにする。 ・書く機会を増やすと同時に、書く姿勢や下敷きを敷くことを徹底する。 ・丁寧に書けることや粘り強く取り組む良さを価値付ける。 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフや写真を読み取って解く力が弱い。 ・体験したものと学んだことが別になっていて、つなげて考えることが苦手。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真や絵、映像等を活用して、文字で書いてあることと結び付けて考えられるようにする。 ・単元の始めに日常生活での場面を想起させ、単元のまとめでは日常生活とどうつながるかを全体で振り返るようにする。 	
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な計算はできるが、文章題など、事象を式に表すことに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物を使用した操作活動を取り入れながら、数の概念の理解や量感を育てる。文章題では、必要な情報に印をつけ整理できるようにする。 ・授業の始めに、前時の既習事項復習をする。 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・問題発見や実験結果の考察の質に大きな個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい考え方や考察を共有する機会を増やし、考え方の定着を図る。 	
生活	/	/	/
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱や楽器リコーダーの基本的な技能の習得はできている児童が多い。簡単な楽曲分析を通して、思考力・判断力・表現力を育成するひつようがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「はんずんだ感じ」と「なめらかな感じ」等、曲の特徴を感じ取りやすい教材を取り上げることで、どのように演奏したらよいか、どんな感じの曲か、を考え、友達と共有することで思考力を育成していく。 	
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に活動できる児童がいる。一方で、気持ちの波があり、活動に入れる時とそうでない時がある児童がいる。学習内容や指示理解が困難な児童への支援が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手本の提示や、友達の話し合い活動、作品鑑賞の場を設け、発想のひろがりを促す。見本や図鑑、イラストなどを示し、そこからきっかけに創作できるようにする。好きな遊びやものなどに関連付けて、アイデアの想起を促す。スマイリースタッフとも連携し、児童の特性に応じた支援を行う。 	
家庭	/	/	/
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動が苦手な児童がいる。 ・体を動かすことが好きな児童は多いが、バランスを保つことや瞬発性のある運動が苦手な児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勝ち負けにこだわらず、みんなで動きをそろえる楽しさを味わわせる。 ・毎時間の体育で主となる運動につながる補助運動を通して、バランス力や瞬発力を高めるようにする。 	
外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて知るに外国語の言い方に苦手意識をもつ児童がいる。 ・チャンツやゲームは参加しても、アルファベットやテキストに書く時に手が止まってしまう児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵カードや映像等を利用して、外国語で言っていることと既存の知識をつなげやすくする。 ・ローマ字の学習とアルファベットで重なる部分を押さえ、書くことに慣れるようにする。 	

令和5年度 授業改善推進プラン 4年

校内研究部

	児童の実態・課題分析	具体的な改善策	改善プランの評価	
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 叙述を基に、考えや感想を持つことに課題がある。 ・ 考えや感想を筋道を立てて分かりやすく伝えることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参考となる叙述を絞ったり、考える視点を焦点化する。 ・ はじめ、中、終わりや考えと根拠などの組み立てを意識しながら文章を作れるようにワークシート等を活用し、繰り返し指導する。 		
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料を正しく読み取ること課題がある。 ・ 資料の内容や用語が、児童の体験と結び付きにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ グラフや表などの資料を正しく読み取れるように、算数とも連携して指導する。 ・ 写真や絵、映像等を活用し、用語と体験を結び付ける。 		
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四則計算が身に付いていない児童が多い。 ・ 文章問題を読み取り、立式をすることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ レディネステストでの見取りをもとに、習熟度別の学習の中で基礎基本の計算を丁寧に行う。 ・ 図やイラストに表して問題場面を把握できるようにする。 		
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活での知識や体験を実験や観察と結び付けられず考えが深まらない。 ・ 根拠を基にした予想を立てることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童がもつ事象への疑問から単元の学習を進めていく。 ・ 単元の最初に既習事項を確認したり、生活場面を想起させたりする。 		
生活	/	/		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌唱の学習に、意欲的に取り組む児童が多い。一方で、思いはあるが、それを表現する技能が伴っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発声練習や少人数での歌唱場面を設定し、自分の声と向き合ったり、友達の声の良さに触れたりしながら、声を出すことの楽しさを味わえるようにする。 		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創作の楽しさを感じて活動できる児童がいる。一方で、独自の発想が広がらず、発想することが苦手な児童や、集中の持続時間が限られている児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目指す目標を具体的に示し、終わりの時刻を児童と共有する。 ・ 製作活動の途中段階にも、残り時間を示し、時間意識をもてるように促す。 ・ 見本や図鑑、イラストなどを示すと、そこからきっかけに創作できるようにする。好きな遊びやものなどと関連付けて、アイデアの想起を促す。 		
家庭	/	/		
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体的に基礎体力は身に付いているが敏捷性に課題がある児童が多い。 ・ 動きを見合って、良い点や改善点を伝え合う活動では、受け身になる児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主となる運動につながる補助運動を通して、敏捷性につながる動きを取り入れていく。 ・ 良い点や課題を話し合ったり、アドバイスしたりできるように、見る視点を明確に示せるようにする。 		
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聞きなれない発音、文字に抵抗を感じる児童もいるが、全体としては前向きに楽しみながら活動している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本語も交えながら安心して取り組める環境を整備する。 ・ 体を動かす活動やゲームなどを取り入れ、楽しみながら外国語に親しめるようにする。 		

令和5年度 授業改善推進プラン 5年

校内研究部

	児童の実態・課題分析	具体的な改善策	改善プランの評価	
国語	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを伝えたり必要なことを質問したりできる児童の差が大きい。 段落毎に要旨を理解し、内容を読み取ることに課題がある。また要旨を文字数内に書くことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常的に自分の考えと理由を話す場面を設定する。 説明文の要旨を捉えて書くときに、時数を制限して書く活動を設ける。 		
社会	<ul style="list-style-type: none"> グラフなどの資料は読み取ることができるが、そこから事象の原因や背景を考えるとなどには課題が残る。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的事象同士を関連付けて考える活動を繰り返し行い、定着を図る。 		
算数	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項を活用し、自分の考えを深めたり広げたりすることに課題がある。 文章問題を適切に読み解くことができない。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを既習事項を使って表現し、発表を検討する際の話し合いを充実させる。 教科書巻末の文章題や、ミライシードを生かして、文章題に取り組む。文章題を図やイラストに表すことで正確に出題の意図を読み解くことができるようにする。 		
理科	<ul style="list-style-type: none"> 実験器具の正しい扱い方が定着していない。 根拠を基に仮説を立て、説明することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察や実験を通して、実験器具を正しく扱えるようにする。 既習事項や生活経験を振り返らせ、それらをもとに仮説を立てられるように促す。 		
生活	/	/		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> リコーダーに苦手意識をもつ児童が数名いる。 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な基礎練習に毎回取り組み、スモールステップで技能を身に付けさせる。 既習の指使いで演奏できる合奏曲に取り組む、友達と合わせる喜びを味わうことで意欲を高める。 		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 図工に興味を持ち造形活動に取り組める児童がいる。一方で、周囲に気が散ってしまい、造形活動に落ち着いて向き合うことに支援が必要な児童もいる。 表現の深まりに至らず、集中の持続に支援が必要な児童 	<ul style="list-style-type: none"> どのような工夫の仕方があるのか、表現方法のいくつかの例を示し、自分が表現したい表現を選択できるようにする。その中で自らの表現力を高める力を育てる。 座席に配慮し、刺激の量を軽減するような座席の配置を行う。 		
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 裁縫において、技能を難しく感じている児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 実物を活用したり、黒板に手順を明確に示すことで、児童が確認しながら学習できるようにする。 動画を活用し、視覚的に手順を示す。 		
体育	<ul style="list-style-type: none"> 友達の上手なところを見付けたり、教え合って技能を高めたりすることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人1台端末や学習カードを活用して、運動技能のポイントやアドバイスの視点を見つけれられるようにする。 		
外国語	<ul style="list-style-type: none"> 英語に慣れ親しむことができていない児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語の歌をはじめ、児童が取組やすい活動を意図的に取り入れ、学習に前向きに臨めるようにする。 		

令和5年度 授業改善推進プラン 6年

校内研究部

	児童の実態・課題分析	具体的な改善策	改善プランの評価
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して書くことに課題がある。 ・敬語の使い方の理解に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材から書き方の工夫を学習した後、身近で興味もてる言語活動を繰り返すことで、意欲的に取り組めるようにする。 ・敬語の使い方をモジュールの時間などで復習する。 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の資料を関連付けて、情報を読み取ることができる児童の力の差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な時間を確保する。みんなが分かる言葉に言い換える。資料から読み取れることとそこから考えられることを明確にして考えられるようにする。 	
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・図形を構成する要素に着目して、図形の意味や性質についての理解に課題がある。 ・基礎的・基本的な計算技能に差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の観察や構成などの活動を充実させる。 ・モジュールの時間を活用して、前学年の復習や基礎的・基本的な計算の定着を図る。 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の中から複数の情報を正しく読み取り、関連づけていくことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表やグラフを用いて、観察・実験の結果を整理することで、規則性を見出したり、考察したりすることができるようにする。 	
生活			
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱に対して、恥ずかしさや苦手意識をもつ児童が多い。自分や友達の声の良さに気づき、自信をもって発声できるようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が意欲を持って取り組める教材を選択する。 ・個々の声を聴き取り、褒めて自信をつけられるようにする。 ・二部合唱の学習を通して、友達と声を合わせて楽しい経験を積めるようにする。 	
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ・創作活動が好きで、自分なりの世界を持ち、表現したい思いをもっている児童が多い。 ・限られた製作時間の中で、見通しをもって取り組むことに苦手ががあり、最後までやり抜く前に、集中が途切れてしまう児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各授業で、どこまでできればゴールなのか、目指す目標を具体的に示し、終わりの時刻を児童と共有する。 ・製作活動の途中段階にも、残り時間を示し、時間意識を持てるように促す。 	
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・裁縫において、技能を難しく感じている児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実物を提示したり、黒板に手順を明確に示すことで、児童が確認しながら学習できるようにする。 ・動画を活用し、視覚的に手順を示す。 	
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・粘り強く運動に取り組む児童が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさを実感しやすい活動から始める。 ・振り返りカードやICTを活用して、自分ができたことを振り返ることで、運動への意欲を高める。 	
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の好きな児童と苦手な児童の英語力の差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌(ディズニー等)が好きな児童が多いので、取り入れて興味をもたせる。 ・ゲームやアクティビティの中で習った表現をくり返し発話できるように工夫する。 	

令和5年度 授業改善推進プラン フレンド

校内研究部

	児童の実態・課題分析	具体的な改善策	改善プランの評価
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・読み取る力、言語能力に個人差が大きい。 ・読み書きが苦手な児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挿絵や写真などを用いて、文と場面を結び付ける。 ・アセスメントを実施し、個々の課題に合わせたトレーニングをしたり、課題の量を調整したりする。 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・事象と資料を結び付けることが苦手なため、学習が持続しにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事象や資料の注目する点を明確にするなど提示の仕方を工夫する。 ・事象と資料と関連付けて考える活動を繰り返し行い、定着を図る。 	
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・前学年までの学習内容が未定着の児童が多い。 ・「できない」「難しい」と予測できてしまうと学習へ抵抗が強まる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レディネステストを実施し、課題になっている内容を復習をする。 ・本時の課題と関連した簡単な数学的活動を取り入れ、「できるかもしれない」と思えるような導入をする。 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・実験結果や資料から複数の情報を正しく読み取り、情報と情報を関連付けていくことに困難がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験結果や資料の量を調整し、比較・考察しやすい学習環境を整える。 	
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・動植物を育てることなどに興味関心のある児童が多い。 一方で、豊かな自然に向き合い、その美しさや素晴らしさを意識することなく、過ごしてしまっている子もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然や身近な体験を多く取り入れ、季節の変化などの気付けるような体験を増やす。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の発達の差により、拍に合わせてリズムよく歌唱、器楽の活動することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に合わせて、体を動かすなど、いろいろな感覚を生かせる活動を多く取り入れる。 ・課題によっては個別での学習を進め、落ち着いて学習できるようにする。 	
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような作品にするか決められない、作りたいものがあるがうまく作れないなどから、学習意欲が下がってしまう児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手本や参考となる資料を用意する。 ・試作の場面を設定し、不安を軽減する。 ・板書で手順を示したり、分からないときは、質問したりできる環境を設定する。 	
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・裁縫において、技能を難しく感じている児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実物を活用したり、黒板に手順を明確に示すことで、児童が確認しながら学習できるようにする。 ・動画を活用し、視覚的に手順を示す。 	
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の発達の違いにより、運動能力や興味関心に偏りがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年別や課題別にグループを分け、活動する。 ・準備運動で体づくり運動を取り入れ、運動の楽しさに触れさせる。 	
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き慣れない、意味を理解できないなどの理由から、英語に慣れ親しむことができていない児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の歌や簡単なアクティビティなど、児童が取り組みやすい活動を意図的に取り入れ、学習に前向きに臨めるようにする。 	